

令和9年(2027年)は、 カスリーン台風 による水害から



80年



カスリーン台風関連
パネル一覧(HP)

利根川「令和の大改修」始動

～ 気候変動に負けない利根川を地域と共に ～

令和元年東日本台風はカスリーン台風と同程度の雨でしたが、ハツ場ダム等の活躍で決壊は免れました。

しかし、堤防ギリギリ（あと1m）まで水位が上がる切迫した状況でした。気候変動を考えると、次の大洪水への備えが急務！

カスリーン台風の悲劇を 2度と繰り返さないよう

『ダム等の上流域対策』+『河川事業』で 利根川を気候変動に 負けない河川に大改修します

「流域治水」と「令和の大改修」 両輪で利根川を次の世代につなげます

令和の大改修とは

- 令和元年東日本台風による利根川が切迫した状況を踏まえ、気候変動を考慮した「河道対策」と既存ダムの有効活用や中止ダム予定地活用、砂防施設機能などの「上流域対策」の総称です。
- 流域のあらゆる関係者と協働し、「流域治水」と両輪で気候変動に負けない利根川の早期実現を目指します。



利根川の治水のために

カスリーン台風に因る異常な降雨を集めた利根川は昭和22年9月15日夜半この堤防を溢れ決壊しその濁流は延々と東京都を浸しました。

昭和10年と16年にも大出水があり過去の改修工事では、利根川を守りきれない事が明らかになったにも拘らず戦争の噪音にまぎれて治水を怠ったからであります。

敗戦後の乏しい国力と変動する社会情勢の下にあつて利根川の復舊と増補に苦しんだ我々はこの国土に住む限り治水を疎かにしてはならないことを痛感し沿岸の方々と我々に続く河川工事関係者に不断の努力を切望致します。

昭和25年9月15日
利根川上流工事事務所長

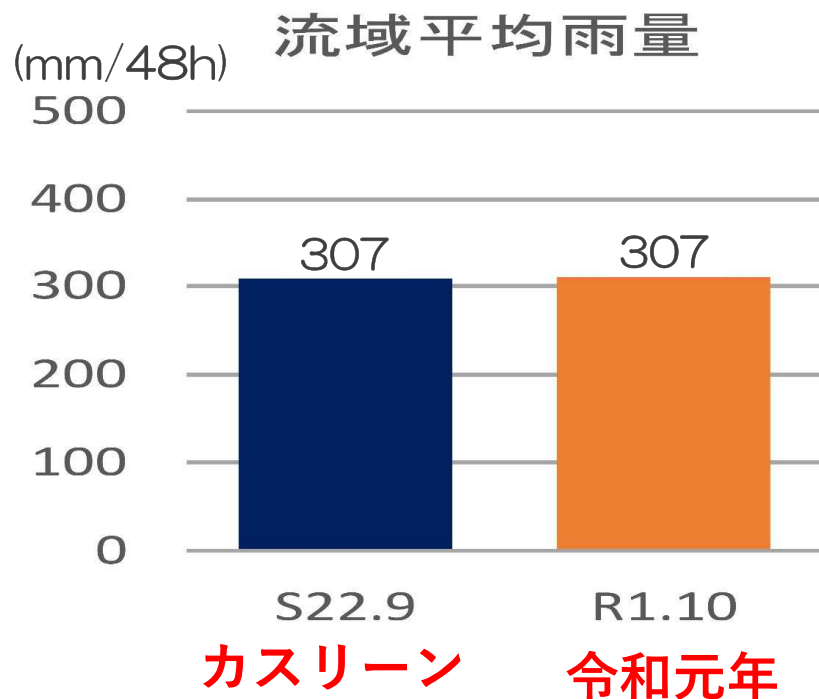
横田周平



決壊口跡 埼玉県加須市
(カスリーン台風利根川決壊地点)
写真提供：三橋さゆり氏

令和元年東日本台風では、カスリーン台風(S22)に匹敵する降雨を記録

利根川【八斗島】



葛飾区堀切付近における浸水の状況

利根川上流ダム群、遊水池、調節池がほぼ満水に



試験湛水中のハツ場ダムが、吾妻川の洪水全量を飲み込む(約7,500万m³)

【令和元年10月2日】



【令和元年10月16日】



○決壊が生ずると首都東京が水没する危険のある場所で、**越水まで残り約1m**※
先人が紡いだ整備 + ハッ場の幸運でも、**ギリギリ**の状況まで追い込まれた



※川底から堤防天端
まで約15m

国による洪水対策が始まった明治33年から令和元年まで**119年間**
次の大洪水は何年、待ってくれるのか

「流域治水」 + 「令和の大改修」

○利根川の破堤は、流域全体に被害が及ぶ。運命共同体

○これを避けるには、

- ・ **流域全体が運命共同体**として、**洪水対策のプレーヤー**となり「**流域治水**」を推進（全員野球：田んぼダム、校庭貯留等）
- ・ ダムや遊水地の強化、河道対策などの「**令和の大改修**」を推進

○カスリーンの被害が現代に。**自分事化できるか。**

先人たちが紡いでくれた利根川を、我々も後世につなげられるか

【ダム】（治水機能増強検討調査）

- ・ 事前放流, 操作方法, 容量再編
 - ・ 放流増強, ダム嵩上げ, 新設ダム
- **有識者委員会実施中**

【遊水地】（牛津川 可動堰）

